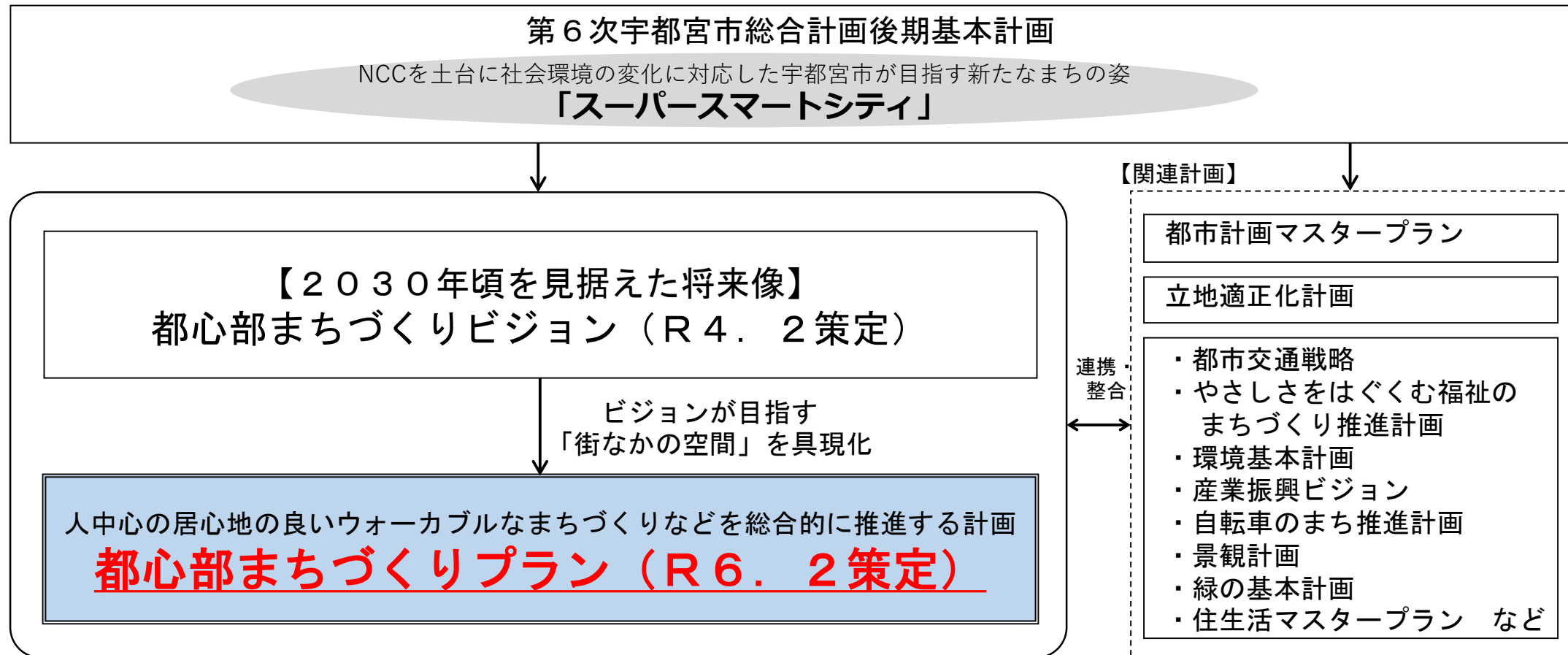


「都心部まちづくりプラン」について



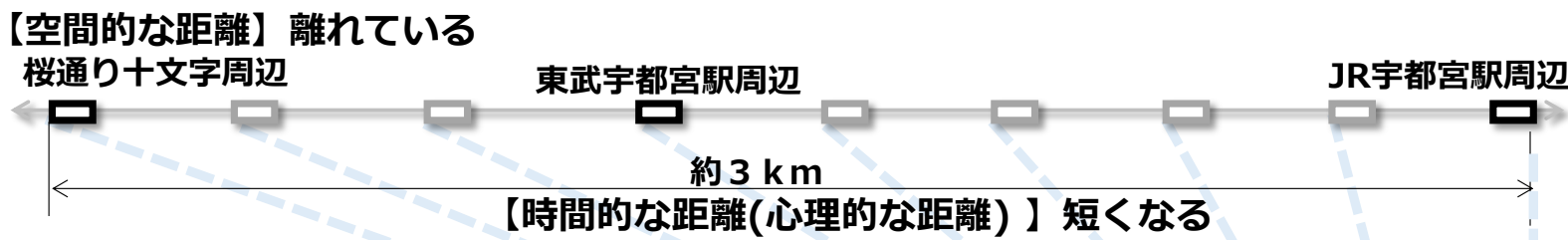
宇都宮市 NCC推進課 都心部まちづくり推進室

都心部における「人中心の居心地の良いウォーカブルなまちづくり」などを総合的に推進する計画であり、「スーパースマートシティ」の柱となる3つの社会の構築にも貢献する計画



ビジョンにおける目指すべきまちの姿

● 「大通り」への
ライトライン導入により
車や人の流れが変化する…

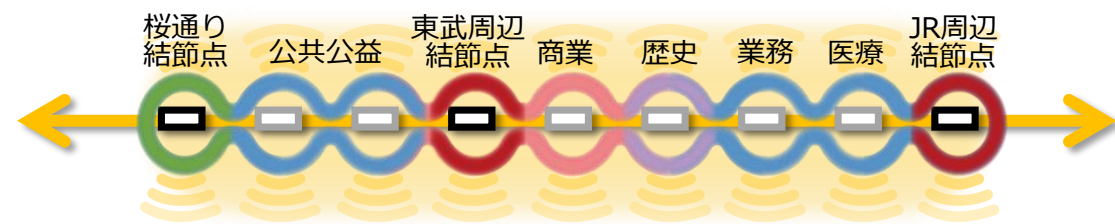


① 大通り沿線における時間的な距離(心理的な距離)が短縮
◆ 大通り沿線の一体的な空間形成が期待



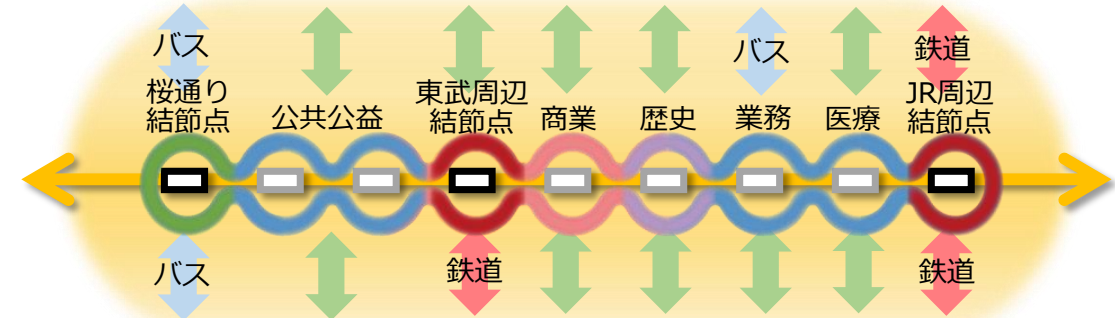
② 多様性のある一体的空間の形成
◆ 沿線に訪れる人々の多様なニーズ(買い物, 食事, 仕事, 医療, 娯楽など)に応えるまちの機能を充実
◆ 居心地が良く快適な歩行空間形成などにより, 人の回遊やにぎわいを波及させ, 都心部エリア全体の魅力と価値を向上

【多様性のある一体的空間の形成】



③ 都心部へのアクセス向上
◆ 周辺地域からもバスなどで都心部にアクセスしやすくする取組により, 都心部の多様な機能・魅力が享受できる環境づくりを進めることで, 都市全体の魅力と価値を向上

【大通り沿線を軸とした都心部へのアクセス向上】



ライトラインなど公共交通を中心に居心地の良い快適なウォーカブルなまちなか

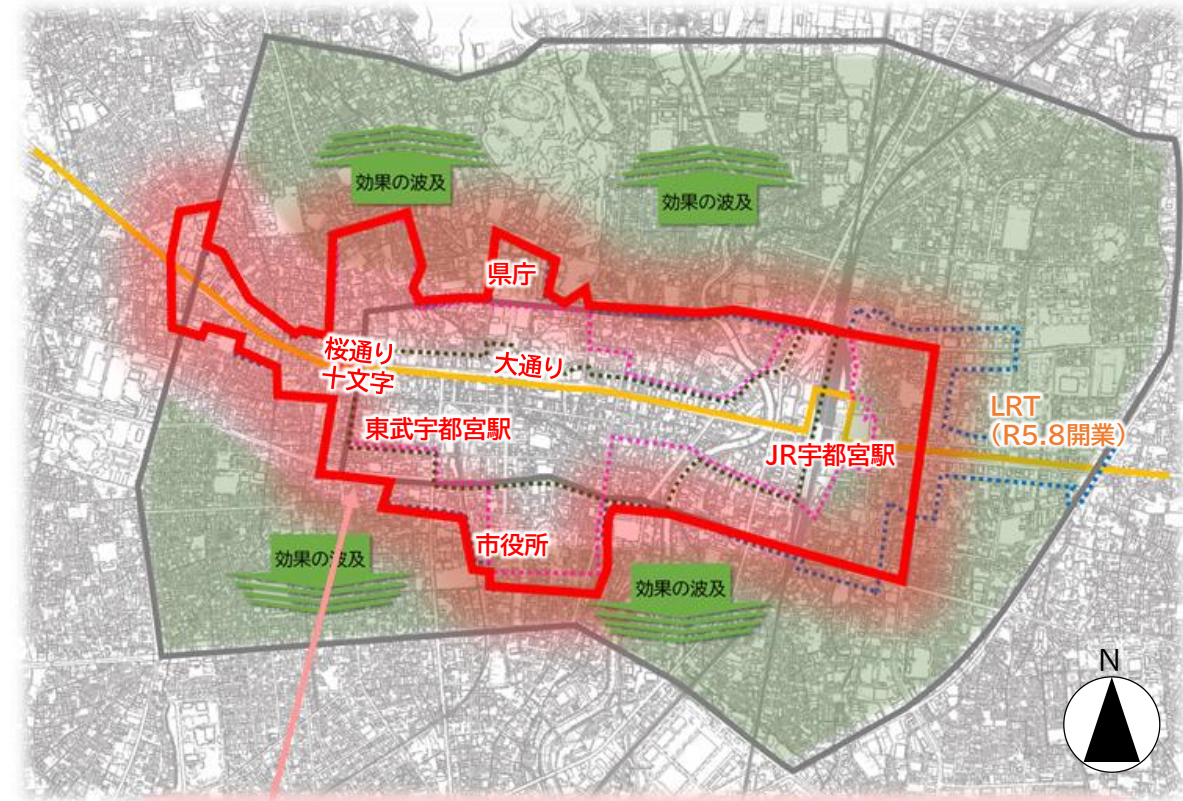
● 「都心部まちづくりビジョン」の実現

- ◆ 市民のニーズに応えるまちの機能充実
- ◆ 居心地が良く歩きたくなる空間形成

- ライトライン等の公共交通や歩行者, 自動車などが共存した

『人中心のウォーカブルなまちづくり』などを総合的に推進するための

『都心部まちづくりプラン』を策定(令和6年2月)



『**施策を重点的に展開する都市拠点内の枢要なエリア**』

- 都心部まちづくりビジョン対象エリア (大通り沿線)
- 都心環状線内
- 高次都市機能誘導区域
- 都心部地区市街地総合再生計画の区域

➔ **プランの対象エリア**

図 都心部まちづくりプランの対象エリア

プランにおけるまちづくりの4つの視点

- 道路と道路沿いの敷地を一体的に捉えた空間の「使い方」や「デザイン」、「都市機能」、「交通機能」といった視点ごとに「望ましい状態」を明示

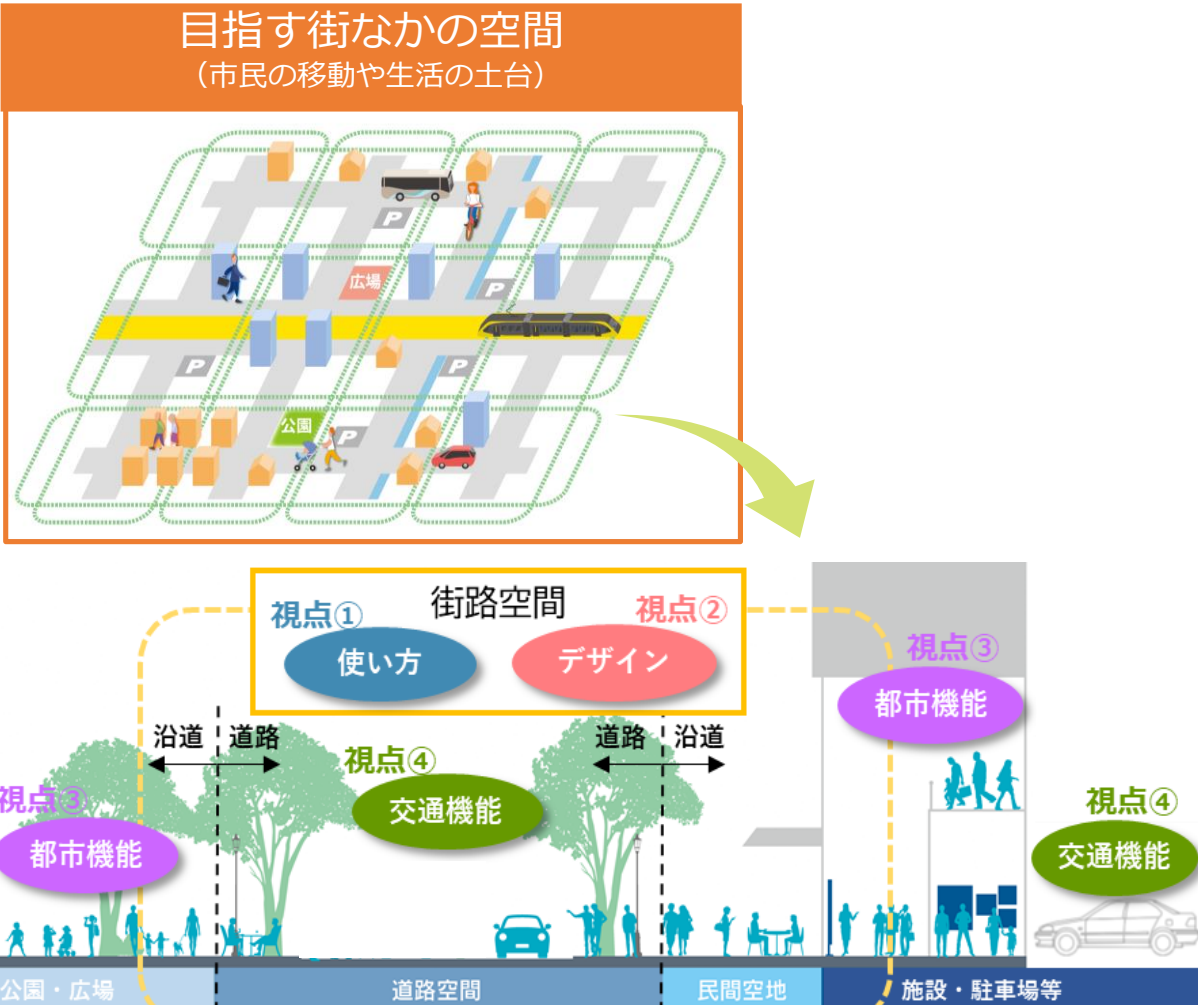
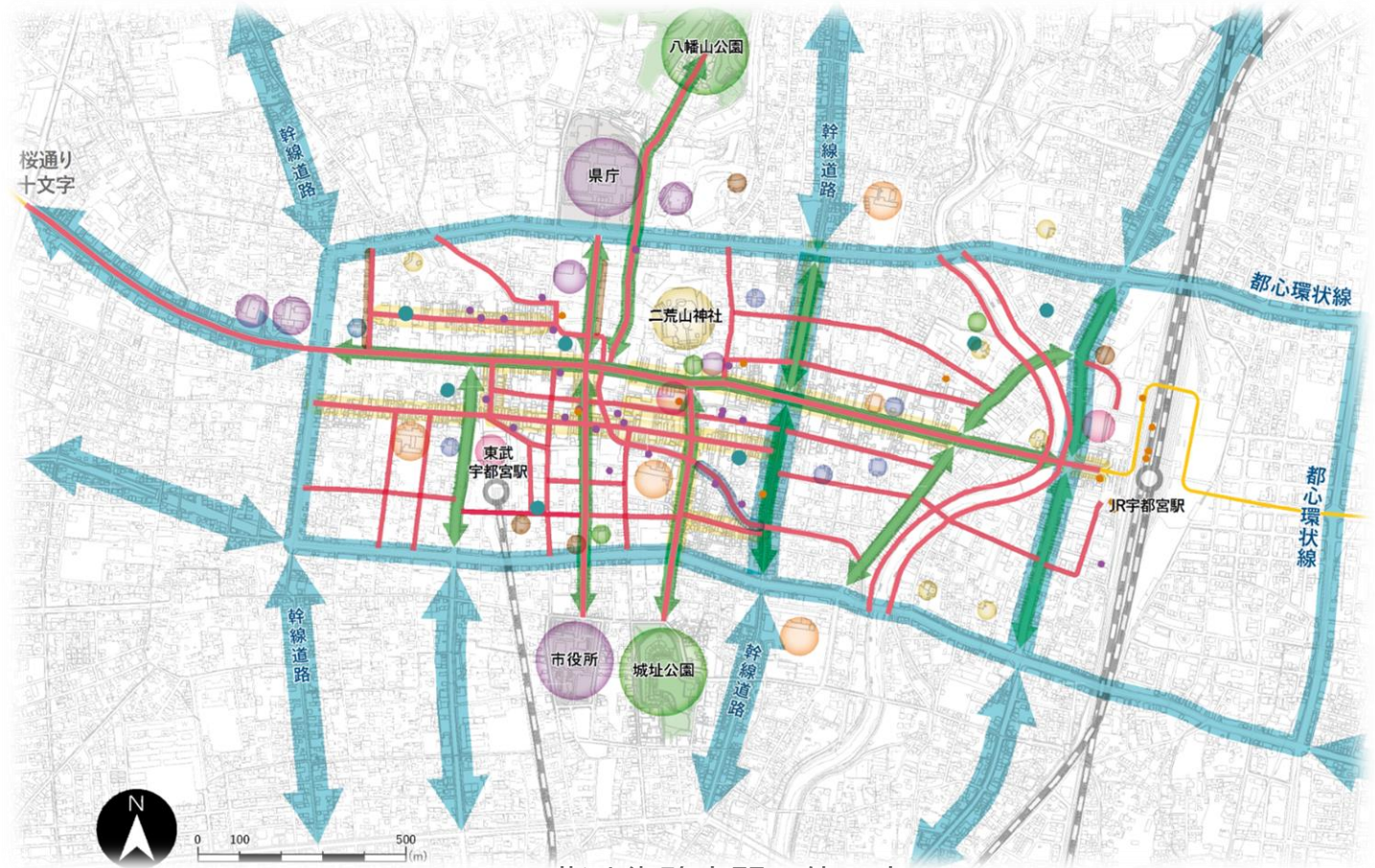
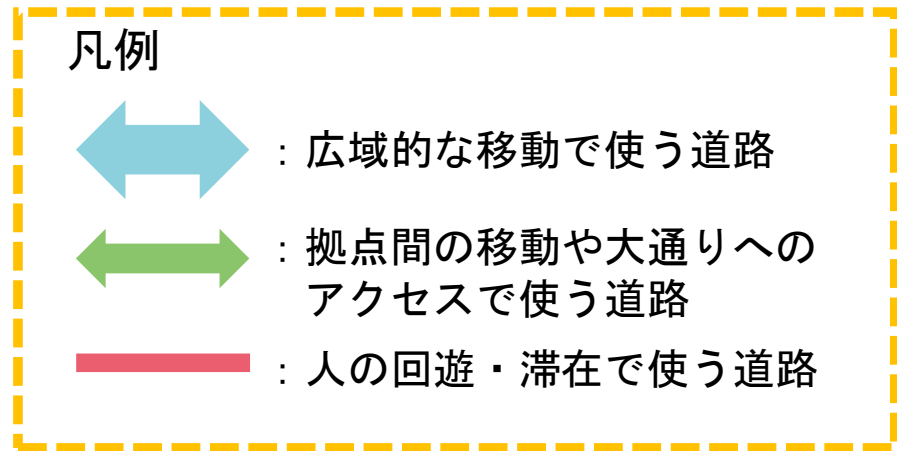


図 街なかの空間におけるまちづくりの視点のイメージ

視点	望ましい状態
①街路空間の使い方	・生活に身近な道路や商店街などのにぎわいの軸となる道路に、 <u>通過するだけの自動車が入らない</u> 。等
②街路空間のデザイン	・ゆとりある、緑あふれる宇都宮らしい景観など、 <u>居心地が良く歩きたくなる街路空間</u> の中で、多くの市民や来街者が歩いてまちの魅力やにぎわいに触れている。等
③都市機能	・働く人、住む人、学ぶ人などの <u>日常生活のニーズに応える</u> 買い物や食事、医療などの施設が、 <u>交通結節点など交通の利便性が高い場所に充実している</u> 。 ・仕事帰りや休日などで訪れる安らぎや憩い楽しめる施設や、柔軟な働き方を可能にする施設など、 <u>暮らしの質を高める施設が充実している</u> 。等
④交通機能	・街路空間の使い方に合わせて、 <u>駐車場を使う自動車が円滑に走行している</u> とともに、 <u>街なかの空間が有効に活用されている</u> 。 ・物流活動が効率的に行われているとともに、 <u>交通への影響や人との錯綜がない</u> 。等

プランで示す道路の使い方

- 道路など限りある空間をかしこく使い分け、有効に活用するため、地区の特性や現在の街路空間の使われ方を評価し、空間形成の様々な施策の土台となる「**目指す道路の使い方**」を明示



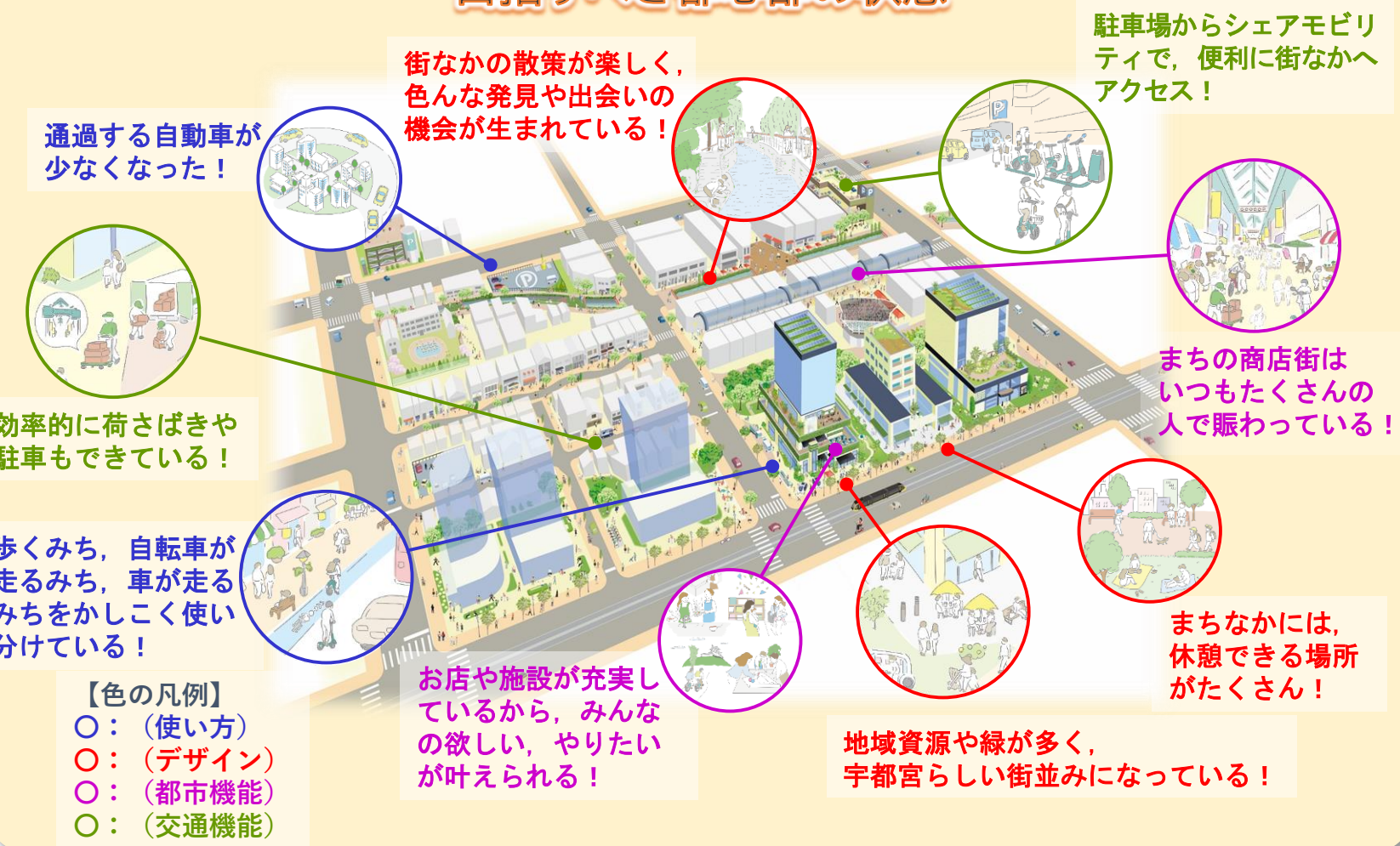
図：目指す街路空間の使い方









都心部まちづくりにおいては、道路の使い方に応じて、街路空間のデザインや都市機能の誘導、交通機能の配置など都心部に相応しい空間形成を推進

目指すべき都心部の状態実現に向けた主な取組事例

- 街なかをつくりたい人、使いたい人などと共に、都心部全体において、道路の使い方を踏まえながら、街なかの商店街や駅周辺など地域の個性や魅力を活かした即地的な取組を展開

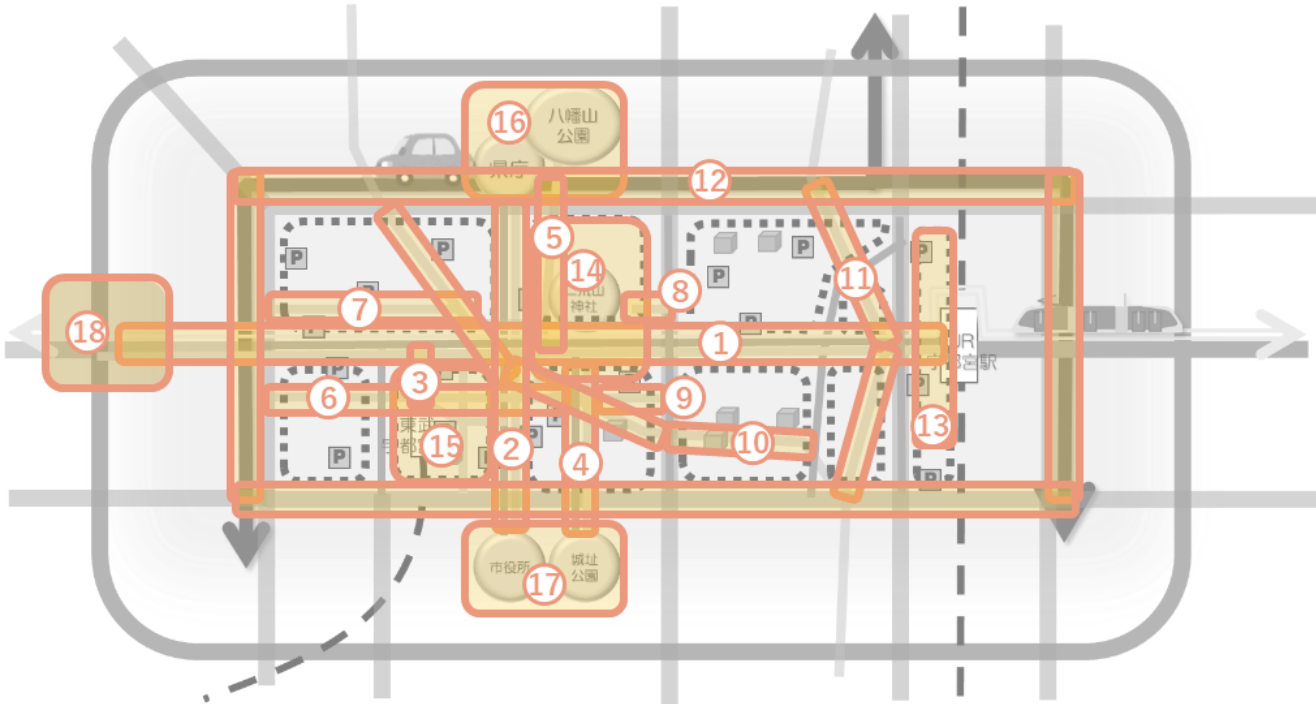
目指すべき都心部の状態



主な取組	
道路の使い方を踏まえた街なかの自動車の誘導	
人中心の街路空間形成に向けた ・プレイスメイキングの推進 ・道路空間の再編	 
まちづくりに貢献する民間開発の誘導	
「住む」「働く」「学ぶ」「憩う」など多様なまちの機能の立地誘導	
都心環状線内における駐車場の量や配置の適正化	
まちづくりと連携した荷さばき環境づくり	
街なかの回遊性を高める公共交通や末端交通の充実	

重点的に施策を展開するエリアや街路

- 都市拠点の形成を一層推進するため、ビジョンにおける『拠点エリア』や『二核二軸』などの都心部の都市構造を踏まえ、重点的に施策を展開する特定のエリアや街路を選定



	番号	エリア・路線
軸	①	大通り（東西都心軸）
	②	シンボルロード（南北都心軸）
	③	東武馬車道通り（交通結節軸・にぎわい軸）
	④	バンバ通り・御橋通り（歴史軸・にぎわい軸）
	⑤	八幡山公園通り（回遊軸・にぎわい軸）
	⑥	オリオン通り・ユニオン通り（にぎわい軸）
	⑦	泉町通り（にぎわい軸）
	⑧	餃子通り（にぎわい軸）
	⑨	日野町通り（にぎわい軸）
	⑩	釜川プロムナード（自然資源）
	⑪	田川沿い（自然資源）
	⑫	都心環状線（自動車交通の骨格）
拠点エリア等	⑬	JR宇都宮駅西口周辺（交通結節点）
	⑭	二荒山神社周辺（シンボル空間）
	⑮	東武宇都宮駅周辺（交通結節点）
	⑯	県庁周辺（回遊拠点）
	⑰	市役所周辺（回遊拠点）
	⑱	桜通り十文字周辺（交通結節点）

STEP 1 (1年目)

- 地元住民や商店街等とプランを共有
- 限られた空間の中で重要視する使い方など将来の空間を検討

〔空間の使い方の例〕

歩く人や滞在する人が使う空間, 自動車や公共交通, 自転車等の端末交通などが走行する空間, 街路樹や民地の植栽など身近な緑を設ける空間, 駐車や荷さばきで使う空間など

STEP 2 (2年目)

- 具体的な事業・手法などを盛り込んだ方針等やまちづくりのルールなどを取りまとめ

〔事業や手法の検討の仕方〕

- ・ 特定のエリアや街路における各施策の事業や手法の例を参考
- ・ 施策同士の連動性 (例: 道路空間再編⇔自動車交通の抑制) や, エリアと街路の連動性 (例: 東武馬車道通りの施策⇔東武宇都宮駅周辺の施策) などを考慮

STEP 3 (3年目~)

- 官民が一体となった空間形成を実践

〔プランの理念を踏まえた取組における意識〕

- ・ 検討した取組について, まちづくりの進展や事業効果を意識しながら, すぐに取り組むべき実効性のあるもの, 社会実験などを行いながらゆるやかに進めるものなど, メリハリを持って実践

令和6年4月より、まちづくり関係団体及び沿線の学校等へ駅西側のまちづくりやライトライン駅西側延伸などについて、事業説明・意見交換を行っているところであり、今後とも、様々な方との意見交換を進めていく。



寄せられた主な意見

駅西側の まちづくり について

- ・ハード面の方向性は理解できるが、より重要なソフト面での「ウォークブルなまちづくり方策」を併せて示して欲しい。※行きたいと思ってもらえるような魅力的なテナントやイベント、憩えるスペースなどがなければ人は集まってこない。
- ・街中の商店等の誘致，イベント開催を今後も精力的に実施して頂きたい。

ライトライン 駅西側延伸 について

- ・車線設計やトランジットセンターの機能についてより理解が深まりました。
- ・西側延伸はぜひとも実現してほしい。
- ・L R T西側開通に伴い市街地活性化が望めるか。市街地空洞化のまま，ただL R Tを通しただけでは，活性化は望めないのでは。色々と対策を検討してほしい。

目指すまち(NCC)の実現に向けた機運醸成の取組

- 目指すまちの姿(NCC)の認知度を更に高めるとともに、『拠点化』や『公共交通ネットワーク構築』に向けた取組状況を共有しながら、多くの関係者との意見交換などをより丁寧に行う「双方向の取組」を進める

- ① 幅広い市民の認知促進
- ② 都心部周辺市民の理解促進
- ③ 都心部エリア市民の合意形成

① 幅広い市民の認知促進

WHO(対象)

- ・市民全体や事業者など

HOW(手法)

- ・広報・広告(広報紙, HP, 看板, 動画…)
- ・オープンハウス
- ・ライトライン体験会

② 都心部周辺市民の理解促進

WHO(対象)

- ・LRT西側の沿線住民など

HOW(手法)

- ・意見交換会
- ・ライトライン体験会

③ 都心部エリア市民の合意形成

WHO(対象)

- ・商店街関係者, 再開発組合, まち機構, 商工会など

HOW(手法)

- ・説明会, 勉強会 など

※この他にも, 出前講座や各種イベントなどにおける周知活動を実施